



くにしていしせき
国指定史跡

なかでらはいじあと

中寺廃寺跡

はっくつ ならじだい
発掘して調べたところ、奈良時代の終わりごろから、山の中の3か所に、平らな土地がつくられていたことがわかりました。それぞれの平ら

な土地に、いろいろなお寺の建物たてもものが建てられました。お寺は、平安時代の終わりごろまでありました。

中寺廃寺跡は、特別な土器どきなどが埋まっていた、めずらしいお寺であることから、国の史跡しせきに指定していされました。

なかでらはいじあと だいせんざん へいあんじだい
中寺廃寺跡は、大川山(高さ 1042.9m)の西にある平安時代の山の

お寺あとの跡です。お寺の跡は、高さ 600~700m 辺りにあります。広さは
187713.16 m²で、琴南小学校の運動場の50個分くらいです。

広島県

岡山県

紫雲出山

粟島

高見島

三豊市

多度津町

善通寺市

丸亀市

仲南地区

こんびらさん

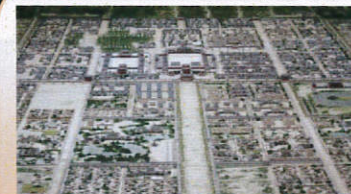
琴平町

満濃地区

中寺廃寺跡

満濃池

大川山から見た風景



都は平安京(現在の京都)



ひらがなが誕生



移動は牛が引く車 貴族が遊んだ楽器



十二単
(紫式部)

平安時代ってどんな時代?

むかしの中寺

まんのう町教育委員会
中寺廃寺発掘調査室
〒786-0202
まんのう町中通876番地
琴南公民館内
電話(0877)85-2221
FAX(0877)85-2826



どうあと 塔跡

さんじゅう
屋根が三重の建物
それぞれの石の上に
柱が立っていました。



わりはいでんあと 割拝殿跡

おいのりをした建物
中央から大川山が
よく見えます。

ぶつどうあと
仏堂跡
ぶつぞう あんち たてもの
仏像を安置した建物
注意深く土をのけているところ。

ほとけ 仏ゾーン

中寺の中心地

わがい 願ゾーン

人々が行事をしたところ



いしぐみ
石組
四角く組んでお祭り
をした跡
崩れている石をの
けているところ。

どうぼうあと 僧房跡

僧が寝起きをした建物



中寺の土の中から出てきた物

<p>特別に作られたつぼ 塔跡にうめられていた土器</p>	<p>越州窯系青磁碗 中国からきためずらしい おわんのかげら</p>	<p>役人のベルトのかざり 石帯(りょう) せきたい</p>	<p>元の形 三重+斎宮歴史博物館のもの</p>	<p>三鈷杵 さんこしよ 仏教の道具</p>	<p>空海さんも持っていたよ 「真言八相像(空海)」</p>
<p>元の形(正倉院のもの) 仏像のお供え物のうつわ 佐波理加盤</p>	<p>土にうまっていた時の 様子 仏教の行事に使われた壺 西播磨産須恵器多口瓶</p>	<p>屋根の前側のかわら 軒丸瓦</p>	<p>僧が修行をするときに持つつえ 元の形(栃木・ 輪王寺のもの) 錫杖 しゃくじょう</p>	<p>東大寺の かわら(参考)</p>	

いのり 祈ゾーン 中寺が始まったところ



ギンリョウソウ
6月頃、ジメジメした林の中でさく無色の花です。



ホトトギス
9月ごろ、日陰に生える山野草です。



ムラサキシメジ
秋、広葉樹林の中に生える鮮やかな紫色のキノコです。



樹氷
2月末頃の大川山山頂の風景です。



ヤマガラ
大川山キャンプ場でえづげができます。



ツルリンドウ
秋に林の地面をほうようにたくさんの花がさきます。

中寺廃寺跡がある大川山(標高 1042.9m)には県内では珍しい原生林が広がり貴重な植物や動物が数多く生息しています。